

H O YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

1990. 4. 33号



不勉強を取りかえす佐用組の二十八日会

（佐用組「二十八日会」代表・服部正暁）

伝道者へムチ打って

寺庭の佐用組「二十八日会」

正信偈に天親菩薩が「依修多羅顯真実」と、仏法を学び仏法に聞くには、まず、積尊の説法に依らなければ、如来の真実を得ることはできない、と勧めてお下さいます。

質の中には、とかく精神修養的言行や世事の善悪判断を受容する方向をもって、ご法義宣布とするという場面をしばしば見かけます。連研や教化団体の研修の場においても、読本やテキストを消化し切れず、行き詰まる場面が見受けられます。質疑に対しても納得される応答ができません。その上、現在は経典の解説書や仏教書を購読している門信徒がふえてきており、それらの人々との会話中にしばしば恥かしい思いをすることがあります。不勉強としかいいようがありません。

これらの苦い思いを胸中を持つ住職・寺族から、こ

とあるごとに「みつちり聖典の勉強をしたいものだ」との声が聞かれていました。「それでは」ということで、天親菩薩のお示しを仰いで、教学の勉強から始めるべく、数人の法中に話しかけましたところ、同意を得ることができました。組内十四か寺の寺庭にある方々全員へ、平成元年九月五日の発足の案内がたがた、強引な形で呼びかけ

ました。結果、十二人の賛同者によって発足することができました。親鸞聖人旧暦のご命日にちなんで、名称を「二十八日会」とし、毎月二十八日に開催する、会場は会員寺院を輪番制で回すなど、規約とともにいろいろな決め事を行いました。初年度は正信偈講座を、次年度は歎異抄講座をする事に決定しました。季刊「せいてん」を中心に輪読会方式で正信偈講座をしている現在です。お互いの心がまえとして、講座内容の如何にかかわらず、また少人数になっても、なんとかしても続けることを約束しました。難点としては、会員が宗門校卒業でない人もおり、また宗門校であっても仏教・真宗学科を専攻していないなどが原因で、教学的に難解な箇所ではしばしば行き詰ることで、今後、難関が待ち受けていると思いますが、これも今までの「不勉強」が原因と恥入り、聖人の教えに聞いて、法衣を着ける者、寺を守る者に成長すべく、勉強邁進する覚悟です。



寺を継ぐ必要のない私が、学友の誘いもあつて軽い気持ちで僧籍に入ったのは大学三年の時である。その折、最年長の従兄（俗）が次のような言葉を投げかけた「その道に入り色々学ばれることは結構だが、俗人であったとこのことを忘れないように」と◆その言葉を深く考えてみようともせず縁あって入寺。僧侶としての時の流れの中で、その座へのめり込み、それを肩に著て宗教者だ、と知らず知らず衣の袖を振りかざし、共に聞こう、歩もうの心を忘れていたのではなかったか◆基幹運動、同朋運動など、運動という言葉をよく用い耳にする。運動とは外に向かつてのみするとの考えは、かけ声だけに終ってしまふ。内（自己）への運びと動きを忘れてはならない◆宗祖が、自らを僧に非ず俗に非ずと名乗り、ひたすら自信教人信の道を歩まれたことに想いをいたし、三千数年前、今は亡き従兄の申した言葉がこのことであつたのかと……、感謝の心で味あう昨今である。

（小松勝昭）

教区だより 4月

- 4月1日(日) 推進員協議会役員会 10時半
- 2日(月) 第六回近畿地区寺族青年後継者育成野球大会 滋賀守山球場
- 3日(火) 地区こどものつどい 別院・メリケンパーク 10時
- 6日(金) 第三ブロック布教団担当者会議 奈良教務所
- 7日(土) 第一土曜仏教講座 杉本顕俊師(阪神北組光円寺) 1時半
- 8日(日) 仏社常任理事会10時半 理事会 1時
- 13日(金) 研修読本作成部会 10時半

- 14日(土)~16日(月) 別院常例 尺一顕正師(揖電西組西楽寺) 1時半
- 17日(火) 臨時教区会 10時半
- 18日(水) 仏婦総連盟総会 本山
- 19日(木) 組長会 10時半
- 21日(土) 保育新任研修・補任式 本山
- 22日(日) 推進員総会・研修会 西脇正文師(揖電西組超念寺) 10時半
- 25日(水) 恵尼さま顕彰・平和の日の集い 本山
- 5月6日(日) 仏社東播大会 久堀弘義師(神戸湊組行願寺) 社町体育センター

御同朋総結集へ 続々と組大会

29日は神明組

十一月七日の「兵庫教区御同朋総結集大会」に向けて、各組においても大会が計画されており、出石組は教区のトップを切つて、昨年秋季実施されましたが、四月以降に予定されている組は次の通りです。(三月末調査)

- ▽神明組 四月二十九日、養勝寺で、講師は久堀弘義師。
- ▽赤穂南組 五月十三日、宝専寺で、参加者二百人。
- ▽朝来組 五月上旬、朝来町のり館で、参加費三千円。
- ▽高砂組 五月中旬、五百人、五百円。
- ▽城崎組 六月三日。
- ▽神崎組 六月三十日、福岡文化センターで、講師久堀弘義師。四百人。
- ▽播磨東組 七月七日、大和殿で。
- ▽加古川組 七月八日、大和殿を予定。五百人。
- ▽岡山北組 七月八日、津山記念福祉会館で、三百人。講師太田唯念師。
- ▽佐用組 七月上旬、南光町文化センターで、講師久堀弘義師。三百人。
- ▽淡路組 七月八日、洲本市勤労センターで。
- ▽多紀組 七月二十九日、篠山中央公民館で。
- ▽阪神北組 七月二十九日、川西市文化会館で、八百から一千人、講師藤田徹文師。三千円。
- ▽北摂組 七月二十九日
- ▽神姫組 七月二十九日
- ▽阪神東組 八月四日、伊丹市立文化会館で、五百から一千人、講師竹下哲氏、

モダン寺モダン講座 第一回は七日に杉本師

神戸市民に「モダン寺」として、親しまれている本願寺神戸別院は、四月から第一土曜の午後、モダン講座を開講することにしました。別院の兵庫県における教化センターとしての役割が叫ばれているおりから、毎月、仏説講座を聞くこととしたものです。対象は主として一般市民なのですが、

有縁の方々にも呼びかけて下さい。第一回は四月七日午後一時半から、医学博士・元広島大学教授の杉本顕俊師の「弥陀の本願」についてです。医学の立場から真宗の教義をわかりやすく説かれるものと期待されています。二回目は五月五日、西本願寺仏婦総連盟講師の久堀

都市開教を 希望の方に

例年の通り京阪神都市圏における都市開教を促進するため財源対策の一貫として、都市開教振興金庫を設け貸付け申し込み者を募集しております。なお、貸付け受けは平成二年四月より五月末日といたしますので、希望の方は別院内にある都市開教兵庫支部にお申し込み下さい。くわしい貸付け要項を送ります。

生前のご苦勞を偲び 謹んで敬弔の意を表します。(敬称略)	赤穂北組教専寺前任住職 「教法院釈法鏡」	神明組光寺前任住職 「無量院釈芳樹」	神戸東組正壽寺坊守 「誓光院釈尼清壽」	神崎組正善寺前任住職 「善照院釈順證」	北摂組寶泉寺前任住職 「寶泉院釈徹心」
平原 徹心	松上 順證	棘 忠子	赤松 芳樹	軀川 法鏡	弘義師。講題は「人生の意味」です。三回目は六月二日、西本願寺研修講師の都呂須孝文師、講題は「無得の一道」。
3月10日 85才	3月7日 79才	3月7日 60才	2月28日 81才	2月23日 87才	なお、七月七日、八月四日、九月一日……と予定されています。

平成2年度 兵庫教区一般会計歳計予算

〔歳入〕(經常部)		平成2年度 予 算 額		平成元年度 予 算 額		対比(△減)	
費 目	金額	金額	金額	金額	金額		
賦課金	55,061,000	52,501,000					2,560,000
宗派交付金	12,470,000	14,500,000					△ 2,030,000
各種助成金	4,000,000	6,300,000					△ 2,300,000
地方事務費	8,470,000	8,200,000					270,000
願記冥加金	3,000,000	3,000,000					0
願繰入金	3,500,000	1,000					3,499,000
雑繰入金	500,000	500,000					0
繰越見込金	6,010,000	7,614,333					△ 1,604,333
經常部歳入合計	80,541,000	78,116,333					2,424,667
〔歳入〕(臨時部)		平成2年度 予 算 額		平成元年度 予 算 額		対比(△減)	
御同朋総結集大会協賛金	1,651,800	1,575,000					76,800
臨時部合計	1,651,800	1,575,000					76,800
歳入総計	82,192,800	79,691,333					2,501,467
〔歳出〕(經常部)		平成2年度 予 算 額		平成元年度 予 算 額		対比(△減)	
教化事業費	21,500,000	21,630,000					△ 130,000
基幹運動推進費	20,200,000	20,330,000					△ 130,000
教区推進委員会費	1,800,000	2,400,000					△ 600,000
同朋運動推進費	4,150,000	4,800,000					△ 650,000
研修費	1,100,000	1,380,000					△ 280,000
連続研修費	5,300,000	4,200,000					1,100,000
組織教化費	2,050,000	1,850,000					200,000
布教対策費	400,000	400,000					0
文書伝道費	2,000,000	2,000,000					0
教材費	1,000,000	1,000,000					0
福祉推進費	400,000	300,000					100,000
社会教化費	500,000	500,000					0
都市開教費	1,500,000	1,500,000					0
基本計画推進費	1,300,000	1,300,000					0
教化助成費	2,750,000	2,600,000					150,000
協議費	3,050,000	3,300,000					△ 250,000
宗務所費	50,000	300,000					△ 250,000
職員費	51,175,000	48,250,000					2,925,000
事務費	41,975,000	39,250,000					2,725,000
印刷費	7,100,000	6,700,000					400,000
通信費	1,900,000	1,800,000					100,000
消耗品費	900,000	800,000					100,000
図書費	600,000	600,000					0
水道光熱費	100,000	100,000					0
出張費	600,000	600,000					0
出度費	1,200,000	1,200,000					0
渉外費	400,000	400,000					0
諸費	900,000	900,000					0
維持管理費	500,000	300,000					200,000
雑費	2,100,000	2,300,000					△ 200,000
災害対策費	100,000	100,000					0
直属寺院関係費	1,150,000	1,100,000					50,000
予備費	766,000	836,333					△ 70,333
經常部歳出合計	80,541,000	78,116,333					2,424,667
〔歳出〕(臨時部)		平成2年度 予 算 額		平成元年度 予 算 額		対比(△減)	
御同朋総結集大会費	1,651,800	1,575,000					76,800
臨時部歳出合計	1,651,800	1,575,000					76,800
歳出総計	82,192,800	76,691,333					2,501,467

一 二 年 度 予 算 を 承 認

秋に御同朋総結集大会

定期教区会

平成元年度定期教区会が三月十四日神戸別院本堂で開かれました。

この定期教区会では平成二年度予算関連の財務議案と教区基推委設置規則一部改正の法規議案とを審議し原案通り可決されました。議案上程に先立ち小滝教

務所長は平成二年度へ向けての執務方針を次のように述べた。

全組実施をお願いしました「任職宗族同朋講座」は、今年度だけで九十会場の開催となり所期の成果もあつたと思っております。しかしながら、全員参加の同時

同座の場となりえたか、その効果が期待された程に充実していたかなど、明年度二回の開催となった同朋講座の実施策と共に総点検等改めて考えていきたい。

第三期となる宗族婦人連続学習会は新しく研修指導員部会を設け宗族婦人の要

望に高められるようなものとして行きたい。

連研については第六期修了者大会を六月二十四日に本願寺会館で開催する。第七期実施に当って中でも研修読本(仮称)という形で作成を進める。併せて連研とは何かということについて見直しをしたい。

いろいろな教区の教化活動については「教区新報」が月刊でお手元に届いておりますが、私どもの仕事の内容、あるいは行事の日程などそうとう輻湊している宗務についてご理解をいただけたら、機関紙を通して要望をいただくことができたいと思っております。

十一月七日に神戸において七千人の結集で兵庫教区御同朋総結集大会が開催されますが、御同朋の教団が世づくりに寄与することが出来る事を参加者全員で確認致したい。その為特別会計二千八百五十七万六千八百円を計上し進めていきたい。

このことは重大で、また将来に関わるおおきな願いであり、重ねて協議会を持ち慎重に教区内の民意に添えていきたい。

仏 壯 33 人 が 大 谷 研 修

HOPE

◆2月23日 姫路西組住職 寺族同盟講座を真教寺で開催。教区派遣講師は西脇修師 ◆24日 網干組結集大会を網干市民センターで開催。大会には教務所長も出席する ◆岡山北組同朋講座を浄円寺。講師は藤田真哲師 ◆26日 基幹運動推進委員会。三専門委員会それぞれにおける活動報告と新メンバーでの活動となる次年度の計画等について。連研を通じて育つご門徒のアフターケア、組での同朋講座の徹底などむずかしい問題に対しても意見交換があつた ◆27日 第二回教化センター協議会。いかにセンターとしての機能を備えるか、時代のニーズに出来るか等様々な意見も出た ◆城崎組同朋講座を徳証寺で。講師は松島法城師 ◆播磨中組同朋講座を最照寺で。講師は高崎長英師 ◆結集大会総合庶務部会。当日の日程、シナリオ、設営など ◆28日 京阪神都市開教本部会議を大阪の津村別院で。兵庫、京都大阪の各三支部より事業現

況の報告。また、岡山市を中心とした地域の開教も話し合われ、推進の方向で準備を進めることとなった ◆青年僧侶の役員会。次回発刊の会報のこと ◆3月1日 基推委常任企画会議。次年度の基推委のメンバー構成など ◆結集大会常任委員会 ◆神明組来光寺前住職様の葬儀に本山よりの達書伝達に教務所長参列 ◆2日 常備会。教区会上程議案について ◆3日 睦学園須磨の浦女子高の卒業式に所長も出席する ◆6日 青僧会と推進員との街頭伝道を明石駅前で実施 ◆7日 別院仏婦常例。講師は石田保孝師(朝来組照福寺)「きれいなお声で聞き取りやすかったですね」とお同行 ◆

保育連盟理事会・研修委員会。近畿ブロック新任研修会の役割分担確認 ◆8日 阪神北組称名寺で都市開教主権の公開講演会。講師は足利孝之師(阪神東組安養寺)本堂いっぱいのお参詣者で特に若い女性が多く、若い世代の方がかえって家の

宗教に縛られず、新聞折り込みで関心を示し選んで参加して来られるようでした ◆教区仏婦委員会。恵信尼さま顕彰平和の日の集い、総連盟総会等について ◆9日 神崎組同朋講座を教徳寺。講師は山崎一朗師 ◆9日 10日 豊岡教堂永代経。講師は宇野行信師(大阪教区)お米一升か五百円かの懇志でおととも出されまし

た ◆10日 神姫組同朋講座を阿弥陀寺。講師は藤栄行信師 ◆10日 11日 教区仏壯大谷一泊研修会。参加は三十三人で法座活動や仏壯の組織づくりなどについて研修する、特に「百目の明著堂でのお晨朝にお勤めした正信偈とその後茶毘所での恩徳讃は参加者全員が感動しました、この研修の機会があつてこそ、お聖人の茶毘所へ初めてお参りするご縁をいただきました。ありがたいことです」と参加の仏壮社員 ◆12日 北撰組寶泉寺前住職様の葬儀に本山よりの達書伝達に教務所長参列 ◆兵庫教区御同朋総結集大会準備委員会を別院で。各部会の現状報告と今後の実動、来年度予算など。総合庶務部会から出された当日のプログラム案は ◆九時半受付 ◆十時半開会式 ◆十



むのかを考えなければならぬ。根本の問題は、宗教とは何か、ということだが、霊をまつるということについて、掘り下げ、日本人の宗教心を発達させるための葬式と法事として取りあげるべきではないか。今の時代に真実の教えをどう伝えるか、若い人達に考えていただくたいと話された。

去る三月十三日(火)、午後、青年僧侶の会特別講演会が別院本堂で開催された。講師は上田義文師(文学博士)で、「親鸞と今の時代」というテーマで約二時間の講演であつた。

上田師は、今の時代は幕末の動乱期に似ており、これから浄土真宗をどう伝えて行くか、真剣に考えなけ

ればならないと、まず問題を提起された。

また、龍大三百五十周年記念シンポジウムにおいて、

「親鸞と今の時代」聞く

うことを、考えなければならぬと力説された。

さらに、葬式と法事の問題について、僧侶はなぜ営

の浄土真宗に対する四つの質問をとり上げ、今までの教えの説き方では世間に受け入れられなくなつたとい

講師は山崎一朗師。